

8月のできごと

12年に一度、富士山頂へ鳥居奉納

岩淵鳥居講

8月6・7日 富士山頂

岩淵では、12年に一度の申年中に富士山頂へ鳥居を奉納する「岩淵鳥居講」が江戸時代から続けられています。今回は、富士山の世界遺産登録後、初の開催として注目され、岩淵のほか市内外から約180人の参加者が集まりました。当日は、岩淵の八坂神社を出発。富士宮市の浅間大社で登山修祓式を行い、富士宮口新五合目から富士山頂を目指しました。足場の悪い山頂での作業に、参加者たちは四苦八苦するも、鳥居が建つと喜びの声を上げていました。



▲鳥居の建立が完了し全員で万歳三唱



▲力を合わせてロープを引っ張り鳥居を立ち上げる



▲岩淵の八坂神社を出発



▲12年前に建てた鳥居を、奉納の1週間前に解体撤去



▲浅間大社で登山修祓式

解体した鳥居は、ことし11月、富士山かぐや姫ミュージアムの屋外に再建し、展示される予定です。

感謝の気持ちを込めて「ありがとう」

新商品「ありがとう」発表会
8月10日 福祉キャンパスくすの木学園

くすの木学園では、利用者の手によりトイレトペーパー「ふじくすの木」の製造販売を行っています。知ってもらうために、新商品「ありがとう」を発表しました。

発表会では、利用者が手づくりのパネルを使って、新商品の説明をしました。包装紙には、利用者が働く幸せに感謝し、心を込めてつくっているトイレトペーパーの製造から販売までの工程を、利用者自身が描いたイラストであらわしています。



▲利用者による新商品説明
◀「ありがとう」12個450円(税込み)



▲常設展示の「富士川を渡る」を御観覧

富士山かぐや姫ミュージアムを御視察

秋篠宮殿下・眞子内親王殿下 お成り
8月12日 富士山かぐや姫ミュージアム

秋篠宮殿下と眞子内親王殿下が、県立富士山麓山の村で開催した「第12回日本アグーナリィ（国際障がいスカウトキャンプ大会）」の開会式への御臨席に伴い、富士市を視察されました。

富士山かぐや姫ミュージアムでは、木ノ内館長の案内で富士川の渡船の歴史や、市に伝わるかぐや姫伝説の展示をのぞくことになりました。館長によると、秋篠宮殿下は、富士山の登山道の成り立ちや、かぐや姫伝説に関心を寄せられていたということです。



▲真剣なまなざしで茶手揉体験よさこい鈴川による演技披露▶

プロの指導のもと職業体験

キッズジョブ2016
8月20・21日 ふじさんめつせ

子どもたちが、さまざまな職業を体験できるキッズジョブ。ここでは技能フェスティバルも同時開催され、大勢の親子連れでにぎわいました。子どもたちは仕事内容を熱心に聞き、さまざまな仕事にチャレンジしていました。

また、20日には「青春大賞中押し応援イベント」が同時開催され、エントリーした1万335組から選ばれた5組のチャレンジヤーが、これまでの成果の中間発表と、目標達成に向けた力強い宣言をしました。

高齢者みまもりサービス事業

サービス内容

- ① 火災センサー、ガス漏れセンサー、ペンダント式通報装置を貸し出します
火災センサー、ガス漏れセンサーは、異常をキャッチすると、自動的にコールセンターに通報します。その後、必要に応じて「駆けつけ員」が利用者の自宅を訪問し、安全を確認します。ペンダント式通報装置は、ボタンを押すと、前述の対応に加え、必要に応じて救急車を手配します。
- ② コールセンターには、365日24時間、看護師、保健師などが常駐しています。健康などに不安がある場合も相談に応じます

対象

在宅で生活している65歳以上の人

利用料

- ひとり暮らし、または、ひとり暮らしに準ずる世帯(※)は、1か月645円(ただし、市民税・県民税非課税世帯は無料)
- ※ひとり暮らしに準ずる世帯とは、65歳以上の人と、寝たきりや認知症の高齢者、重度障害者、または18歳未満の子のみで構成される世帯。

- 右記に該当しない高齢者を含む世帯は、1か月1285円

申し込み

直接、高齢者介護支援課へ

※申請の際に、緊急連絡先として3人の登録が必要です。

問い合わせ 高齢者介護支援課
(市役所4階) ☎(55)2741